

## 廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成27年度第2回廃棄物対策審議会
日時	平成27年10月9日(金) 13時30分～15時40分
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 第3研修室
出席委員	篠山委員、恵良委員、稲葉委員、龍田委員、松本委員、鈴木委員、村越委員、中西委員、近藤委員、大谷委員、高岩委員、
欠席委員	秋山委員、小木曾委員
会長	篠山委員
事務局	古川環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター所長、糸井副所長、互井副所長、鈴木副所長、金子管理計画係長、藤原収集・リサイクル係長、宮崎管理計画係副主査、宮原管理計画係主事、環境政策・放射能対策課渡辺主任主事
傍聴人	なし
議題	(1) 流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて (2) その他
資料	【資料1】流山市一般廃棄物処理基本計画(案) 【資料2】これまでの審議会でもいただいたご意見に対する対応 【資料3】ごみ処理・リサイクルに関するアンケート調査(市民・事業者)調査結果報告書
議事要旨	別紙のとおり

## 議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会（13時30分）</li> <li>・環境部長あいさつ</li> <li>・職員紹介</li> <li>・審議会長あいさつ</li> <li>・議題</li> </ul> <p>（1）流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて （2）その他</p>	
篠山会長	議題1「流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」事務局から資料の説明をお願いします。
<p>～事務局より資料を説明～</p> <p>前回の審議会で「一般廃棄物処理基本計画の見直し（案）」がわかりにくい等の指摘を受けてまとめ方を変え、見やすくしたことを説明した。</p> <p>また、資料2の「これまでの審議会でいただいたご意見等に対する対応」に示したように、計画の中に反映したことを説明するとともに、前回配布した計画案と今回配布した計画案の内容の違いを中心に説明した。</p>	
鈴木委員	14ページのマイバッグの普及促進について、「商工会」という表記がありますが、現在は「商工会議所」と変わっていますので訂正をお願いします。
事務局(南雲次長)	訂正します。
篠山会長	資料1の評価〇ページの背景について、青い背景と文字がかぶり見にくいので、緑色にする等して頂きたいと思います。
龍田委員	タイトルに計画とありますが、これは基本計画に対して、計画を立て直すということでしょうか。
篠山会長	確かに、タイトルは計画になっていますが、中間見直しといいますか、評価を主体にしています。 市役所でこういった形の基本計画を作るというのはなかなか見ないケースであり、それだけに流山市のスタンスがわかりやすく、どこが問題なのかということがはっきりまとめられていると思います。
龍田委員	そうするとタイトルがおかしいのではないのでしょうか。あくまでも平成30年度までの計画の途中の見直しです。というようなタイトルにした方がいいように思います。
篠山会長	そうですね。
龍田委員	計画というタイトルだと、計画なのか〇×の評価なのか誤解を招くと思います。
篠山会長	そうですね。おっしゃるとおりです。
稲葉委員	今のことと関係して感想と質問ですが、この〇△×というのはとても解り易くてデザイン的にもおもしろいと思います。 質問は今、龍田委員からもあった意見と関係しますが、第1章でいわゆる計画について説明して、第2章で〇△とかを付けるような評価を含め

	<p>た「これまでの取り組み」を振り返っています、もう一つ「今後の取り組み」というのもここに含まれていますが、「今後の取り組み」というのは計画に入ることですか。第一章の計画の方にも書かれています、もう一回書いてあるのでしょうか。</p> <p>計画と今後の取り組みの関係を教えていただきたく思います。</p>
篠山会長	では事務局から説明をお願いします。
事務局(金子係長)	先ほど少しお話ししましたが、目標年度と目標値は変えないことになっていますので、その目標に向かって今後どのように取り組むかということを書いています。
稲葉委員	計画ではないのですね。では、計画については目標値だけを書いてあると考えていいですか。また、それに向けてということが今後の取り組みですか。
事務局(金子係長)	はい。見直しということで、今後の取り組む内容を書いています。
篠山会長	見直して何ができるか、また現時点で何をするかということに記載したりするのもいいかもしれませんね。
稲葉委員	計画というのは目標値の設定ということでもありますが、それに対して何をするかということも含めて計画と言う時もありますよね。
篠山会長	やはり、龍田委員のおっしゃるように、そうしたところをどう表現するかが重要だと思います。
恵良委員	第2章の8ページに評価の凡例が載っていますよね。その次に異なる内容の9、10、11、12ページが入ってきてわかりにくいので凡例を、評価の直前に持ってきてはどうでしょうか。
事務局(南雲次長)	そうですね。おっしゃる通りです。訂正します。
篠山会長	少しページの順番、タイトルの表現について考えていただければと思います。
稲葉委員	計画と取り組みという表現にするのはどうでしょうか。
篠山会長	より具体的なタイトルにした方がいいということですね。
龍田委員	中間報告と加えるのはどうでしょうか。

篠山会長	では、そのように是非ご検討いただければと思います。
恵良委員	18ページに「他市の先進事例を勉強してみよう」ということを書いてあり、家庭の生ごみ処理の問題で、どういうふう処理するか、どこか先進の市町村に勉強に行ったらどうかと言う話を以前したと思うのですが、実際にどこかに行かれていますか。
事務局(南雲次長)	前年度については、そこまで至っておりません。
恵良委員	前年度よりもっと前から申し上げています。
事務局(南雲所長)	まずは学校の生徒たちに循環型社会の推進を啓発したうえで、大型生ごみ処理機を普及させる必要があると考えていました。私がリサイクル関係に来たときは、常盤松中学と小山小に設置していました。一つは消滅型でなくなるタイプ、もう一つは肥料になるタイプで、ガレージセールやイベントがあると、皆さんにお配りしていたんですが、その当方で、設置から10年以上が経っていました。加えてメンテナンスの費用が掛かるということで、別の方法を考えようということになりました。また、当時最新式の生ごみ処理機を導入しましたが価格が高くて、計画通りに予算確保が難しいということもありました。現在、手元に資料がなく、この場で詳しいご説明ができませんので、この点につきましては次回までに調べたいと思います。ただ、他市の先進事例については検討できていないというのが現状です。
恵良委員	この点については今回の中間見直しに反映させなくても構わないと思います。
篠山会長	中間見直しに書かなくていいということですが、現状では「勉強していません」という形になってしまうので、そこについて、聞かれたらどうするのかと感じました。
事務局(古川部長)	私は7年前、学校教育課というところにおいて、学校給食で出た食材や残渣を、小山小で処理を行っていて、その時のお話をしますと、できた肥料は非常によいもので、学校の花壇で使ったり、バザーなどで売ったりして、活用していましたが、いくつか使用上の課題もありました。例えば、分別して入れる必要があるという点も課題の一つです。しかし、いくつかの課題もある中で、かなり有効に働いていました。ですが、先ほど所長が言いましたように、かなり高額なので、どこかの補助制度を活用するか、そういうことができれば、財源の確保などもできると思いますので、改めて検討していきたいとおもいます。
篠山会長	ありがとうございました。 私も生ごみの研究をしたことがありますが、なかなか難しい問題だと思います。
稲葉委員	研究ではないのですが、小学校等の生ごみ処理機の導入については、東京都の北区の事例をヒアリングしたことがあり、やはり導入してから時間が経ち、古くなってきて、機械の更新が必要だけど高額である等の悩みもあるとのことでした。そういった一通り試行錯誤して、課題が出てきた所に聞くと、すごく参考になるのかなと思います。

篠山会長	はい。どうもありがとうございました。 ただ一方で、流山市民の気持ちのひとつとして、機械に頼らずやっ けるのでは、というのがあるのではないかと思います。
恵良委員	以前、長井市のレインボープランの例を読んだことがあります。 長井市のレインボープランというのは、全国の市町村で唯一、生ごみ 処理に成功している市町村ということでご存じだと思います。それほど 有名なところのプランというのは、ただ単に「生ごみについて処理をど うするのか」ということだけでなく、自分たちの「まち」をどうしたい のかという「まちづくり」の観点から生まれたプラン発想なんですね。 そこが絡んでこないと、ただ生ごみ処理ということだけでは進まない と思いますので、そういったところも調べて頂きたいと思います。 ただ、人口の問題や、市町村の規模等難しい問題がいっぱいあるのは 良く知っています。しかし、北九州みたいにがんばってるところもある ので、ぜひ研究して頂ければと思います。
篠山会長	今後の取り組みですが、もう少し具体的にある程度示せることがあ れば△や×の部分で、恵良委員のおっしゃっているようなことも踏ま えて、さらに加筆して頂くということだと思います。さらに△とか× の所で皆様方からご意見をいただければ、それを加えて纏めていただ けるのではないかなと思いました。是非、その辺も含めてご意見ご質 問をいただければと思いますが、いかがでしょうか。
近藤委員	私の家では家庭用生ごみ処理機を使っております。 それで、家庭用ごみ処理機を購入する際に、市の方で補助があると 聞いたことがあります。今はないのでしょうか？
事務局(古川部長)	いまは行っておりません。
近藤委員	わかりました。
篠山会長	電気式は乾燥型が主流になり、堆肥型が製造中止になっています。 ただ、乾燥型で出たものをどう使うかという研究が進んでいますが、 一方では、岡山市の事例ですが、家庭用生ごみ処理機の設置推進に 反対する市民の方もいらっしゃいます。
恵良委員	私は補助金を使ったことがあります。購入費の半分くらいは補助金 が出ました。 私はパナソニックのものを使いましたが、堆肥化すると大きさが1/2 0になります。そのため、生ごみの減量化には役立ちますが、ただ電 気代がとてかかりやすいです。
近藤委員	そうです。家の中で使うと、熱を発したり、臭いが出たりもしま す。それで仕方なく外で使っているんですけども、やはり時間がかか ります。
中西委員	以前処理機を買った方が、「家族が減っていくと、そんなにゴミが 出なくなり、いちいちそこに入れて乾燥するのがめんどくさくなり、 生ごみに出した方が簡単だ」と仰っていました。もし購入されてい る方を把握していたら、「ご使用になっていますか」や、「使った具 合はどうか」等のアンケートを取るといいのではないのでしょうか。 買って使っていない方が結構いらっしゃるみたいです。

近藤委員	また、なんでも一緒に入れられるわけではなく、大根などは細かく切ってから入れなければいけないので、よけい手間がかかると思います。
篠山会長	生き物ですので、あれはペットを飼うようなものだともいいます。 私が調査した時に感じたのは、乾燥型は、ネットとかでの購入を見ると、楽でいいという方がむしろ買っているなと思いました。そこに入れば乾燥してくれるという。 ですから、こういったところに補助を出すというのは本来、税金の使い方としておかしい、流山市が先進的に早く補助金を打ち切っているという考え方でいいと思います。
中西委員	電気代が高いというお話もありましたし、補助金を出して終わりという ことでなくて、ある程度行政側からメンテナンス等について助言してあげられたらいいと思います。
近藤委員	そうですね。 あとは、掃除が大変ですね。乾燥するので羽の所に付いた物がなかなかとれません。 最初は割り箸で刃の所を掃除してみましたが、それでもやっぱり回りが悪いです。
篠山会長	そうですね。私も一時期、生ごみ処理機の研究をしていましたが大変ですね。 生ごみの問題というのは、さっき恵良委員の方からありましたが、「町としてどうしようか」というところに収束するのかもしれない。 仮に乾燥式だって、そのあとの流れを町としてどうしていくかという考えがあれば、それを市として推進しても悪いことではありません。 だから、「これは正しくて、これは間違っている」ということでなく、町をどうしていくかというところで位置付けられていくのかもしれませんが、この点については継続的な意味の△がついていますので、今後どうしていくべきかについて検討するという事だと思います。
松本委員	今回いただいた資料は前回とはかなり変わっていて非常に解り易くなったと一見してそう思いました。 まず、水切りの問題で、市が無償で水切り器具を配ったことがあったかと思いますが、一番効果があるのは、人が手でぎゅっとやるとかなり効果があって、結局、うちの家内も水切り器具を使うよりも自分でやった方がよっぽどいいというようなことで、水切り器具による啓発というのはうまくいかないのかなと思います。 主婦がそういった意識を持って協力してくれるかというのは、水切りをするとこれくらいの量が圧縮されてというような具体的なことをPRしていかないといけないと思います。自分がやったことが全体でこれだけ大きな効果になるということを何かPRできないのかなと思います。 毎月広報をしっかりと読んでいますが、ごみの記事が非常に少ないと思います。広報をうまく使ってごみに対して協力してくださいと、こういう効果がありますよと、どんどん市民に訴えたらどうかと思います。
篠山会長	水切りについては、基本的にはひとりひとりが、家庭で行っていくしかないと思います。ですが、そこをもう少し目立った形で印象づけした方

	がいいと思います。
松本委員	広報の載せ方について、文章で書くよりも一目でわかるようにする等の工夫をすることがいいと思います。忙しい人も多いですから文章はあまり読まないと思います。
篠山会長	何日は水切りの日等、そういったイベント形式に情報を頻繁に載せていくのはどうでしょうか。そうでなければ、いつも広報の下の方には水切りの話が載っているとか。
松本委員	行政とごみというのは、週に5日もごみ出しの日があるので一番接点が多い項目ですね。それなのに広報にはほとんどごみのことが載っていないので、これはもったいないなと思います。 市民の皆さんも広報をよく読んでいますので、それを活用して市民にごみの方に向けて頂くというか、そういうことが非常に大事だと思います。
篠山会長	今の松本委員の水切りに関した今後の取り組みについては、アイデアを募集していきます。さらに広報を通して積極的に水切りの推進を進めるとか、ここで文章にただけでは不十分なので具体的に何か行う事が大事だと思います。
事務局(古川部長)	広報の特集号で、いろいろテーマを決めてやっておりますので、ごみの特集をするとか、そのようなことから進めていけるかと思っています。
恵良委員	そこの所を市民から協力してもらえようと言ってみたらどうでしょうか。 例えば主婦の提案みたいな形で、行政ではなく市民からの意見として出したらどうでしょうか。水切りの問題と、食器を洗う時の話ですが、平和台に住んでいる主婦が、色々なところに顔を出されています。彼女の生活を見ていますと、とにかく食器を洗う時も、食器に食物の油がついていないです。全部途中で新聞の切れ端やティッシュできってある。その話をうちの妻に話したら、それから気にするようになりました。食べ物が何かお皿にくっついていると、「なにこれ！ごはん粒一粒ついてる！」って言われ、全部食べないといけなくなってくる。 行政が「こうしたほうがいいですよ」と掲載するよりも、「誰々さんはこうやったら、水切りの際にごみが発生しませんでしたよ」というように広報に載せるのも一つのアイデアだと思います
中西委員	私は油ものや、残ったものを、ちり紙できれいにしてから洗いますが、それだと結局ちり紙がごみになり、ごみが減りません。そのギャップに少し悩んでいます。 この前いただいた水切り器具も、便利でしばらく使っていましたが、壊れてしまいました。悪いアイデアではなかったと思いますので、広報の仕方が悪かったのではないかなと思います。
中西委員	主婦の方は結構、いろいろ工夫して捨てています。
篠山会長	はい。ありがとうございます。今、恵良委員がおっしゃったように、こういった工夫を、市を介して行うのはいいかもしれないですね。そうすることで、親近感が湧き、「うちでもやってみよう」とかそうなっていくといいなと思います。

中西委員	先ほど申し上げた、ちり紙で拭いたら、そのちり紙が今度ごみになることについて疑問に思います。
篠山会長	今度は下水道処理の話と絡んでくるので、確かに難しい問題です。
中西委員	ただ、水を流さない、油ものを流さないことから環境にはいいのかなと思います。
大谷委員	<p>今の平和台の主婦の方ですけども、捨てるような下着とか洋服を細かく切って、ストックしておいて、それで拭いて、捨てたりされています。そういう醤油とかも、流してしまうと水を汚染するので、そういうものに含ませて捨てていると仰っていました。</p> <p>こちらで講座をしているのですけれど、以前は水切りのことも、講座を始める前に、ごみの減量化について市の職員の方がお話をしてくださっていたのですけども、最近はやはり水切りの話はほとんど出ません。ただ、受講されるのはそういう主婦の方がほとんどですから、そういう中でお話しして頂くと、ほかのお友達に会ったときに伝わることもありますし、具体的な話をさせていただくと、人に話そうかなという気にもなるとも思います。水切りを、水切りをと何年も前から言われていて、以前も申し上げたことがあるんですけども、水切りをするとどういふ効果があるかということをお話して頂いた方が、聞く方もいいと思います。一時期、水を切るとごみの処理費用も少なくなる、という話を講座を行う際、一緒にしていただいていたことがあります。そういうことが問題になるのであれば、講座の時にさせていただくといいかなと思います。</p> <p>それから、子供講座の時にも話していただくと、子供達には、「ごみの処理費用が減ると給食がちょっとよくなるかもしれませんよ」とか、「費用が減ると、その分使えるお金が増えるから、他のお金が自分たちに影響があるところで増えるかもしれませんよ」といった話をさせていただいたことがあったんですね。</p> <p>親子で話して頂いて、「お母さん水切らないの？」ってお子さんに言われれば、お母さんも意識すると思うので、講座等で子供たちにもそういう事を話せば、お母さんに伝わるということがあると思うんですよ。</p>
篠山会長	そうですね。18ページの下の今後の取り組みについては、地道な広報活動をはじめ、色々考えられますね。
大谷委員	松戸市のごみ集積所の曜日別分類表がわかりやすいように思いました。市によって、書き方が違うと思うのですがそういうところも、比較検討して頂くといいかなと思いました。
篠山会長	松本委員から、水切りに関わるご提案がありまして、そのあと、皆さんの中からはいろいろな提案が出てきたところで、広報をどうしていくかで、恵良委員から出たような、どういった取り組みをしているかを掲載したり、大谷委員から出た他市のごみ分別表の研究やそういった活用の所でも、粘り強く続けていくといったような部分が大事です。
大谷委員	先ほどの意見に付け加えですが、講座の時に具体的な、話をさせていただくと、「わたしはこうしているのよ」とか、そういった意見もでてきたりするので、そういう中でまた拾い上げて行ったり、そういう話も出たり

	しましたので、講座の時に、具体的に話をさせていただければと思います。
篠山会長	皆様方からお話を聞いていて、このタイトルのこともありますし、非常にすっきりとした形で出来上がっていると思いますが、最初の方に「教えてケロクル」といったコラムがありますので、期限的な制約もありますが、何か「教えてケロクル」とかではなくて、「やりたいケロクル」ではないですが、今の話をうまく表現できないかなと思いました。基本はこの流れで結構だと思います。もし何か今後具体的に、例えば今、大谷委員から出ていたようなところ、あるいは、恵良委員から出ているようなところで、「おしえてケロクル」でもいいのですが、「皆さんからの聞かせてケロクル」とか、なにかそういう様なことも要所要所配置したりして、読むことの面白味も増していけば、計画もより身近なものになってくるかなと思いました。 この後の時間でも、皆さんから出てきたご意見の中で、盛り込めそうな部分があれば、ぜひ盛り込んで取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。
高岩委員	大谷委員の話に関連して、親子教室に来る人って、興味関心がもともとある人が多いと思いますがごみ行政に興味ない人もいますので、ごみの分別カレンダーとかをもっと大判にして、そこに分別方法や、水を切る方法や、生ごみを減量する方法を記入したほうが見る人が多いように思います。
篠山会長	市民の関心を向かせるという点で考えれば、例えば「ごみカレンダーデザイン募集！」とかそういうことをして、市民の方からアイデアをもらおうということもいいかもしれません。
龍田委員	小学生が作ったごみのポスターをもっと、カレンダーの裏に出すとかはどうでしょうか。 もう一つ、小学生に関心を持たせるために標語を求めるのがいいと思います。
篠山会長	そうした形で、色々な工夫を、市民の方からも上げていただき、広報活動しながらまた意見をいただくという、そういう仕組みがいいと思います 皆さんから頂いたご意見を何らかの形で今回のものにも反映できればと思います。
高岩委員	松戸のごみ回収の方法は、路上に折り畳みコンテナを置いているんですね。例えばそれを、市が無償で、貸して、置いて、回収業者が回収した状態で、空きの折りコンを持って帰れば、家で保管ができるから、ごみが出しやすくなるし、あと、分別もしやすくなるという風に思います。
篠山会長	分別しやすくする工夫ということですね。
恵良委員	流山市の今のステーション方式も道路交通法を無視していますね。そういった話が前回出ましたね。柏も場所によるらしいですけど回収方式がちゃんとしているところがあります。
近藤委員	折り畳みコンテナの大きさは大とか、中とかあるのでしょうか？
事務局(糸井副所長)	サイズはいろいろあります。一番小さい物ですと、30 cmくらいで、横幅が1 mくらい。4、5世帯分くらいの小さいものがあります。大きいの

	<p>ですと、幅が1 mくらいで、横幅2 mくらい。  もっと大きいのですと、集合住宅用で、ちゃんと蓋がついて、これは、油圧式の蓋になっております。大きいものですと、横幅3 mくらいものになります。</p>
事務局(糸井副所長)	<p>前日も説明しましたが、邪魔にならないような条件の所は、可能かと思えます。それはあくまでも、恵良副会長のおっしゃったように、道路交通法の中でも、黙認というか。民地なら構いませんが、道路は市のものでから道路交通法が関係してきますし、8割方はそういうところです。そういうところは、ごみの収集場所のステーション看板があり、そこにビニール袋に入れたものを出してもらい、ネットを置いています。ネットについてはうちの方で再利用したものをみなさんにお配りしていますが、それも2 m×2 m程度のものです。</p>
松本委員	<p>先ほどのアンケートの中にもありましたが容器包装プラスチックの分別が一番、皆さん混乱をしています。  これに対して、広報で整理をすると、非常に悩みは解決するのではないかと感じています。</p>
事務局(糸居副所長)	<p>先日、地域新聞の記者が取材に来て、容リプラのことについて、取材を受けましたので、これはいくらか啓発になったのかなと思っています。今後、広報流山に、容リプラの見分け方等を、広報していきたいと思っております。</p>
松本委員	<p>市民と行政のやり取りを進めないとはよくならないと思います。容器包装プラについて何が問題かということに対して、「こう言う問題が今起きているからこうしてください」とか、「だからこういうふうな区別の仕方をしてください」等、実態をフィードバックする提案の仕方が大事だと思います。生の状況から出てくる、データを活用しない手はないと思います。</p>
事務局(南雲次長)	<p>現在流山市では容リプラについて袋で来たものを選別しております。その中で、汚れたものとか、容リプラではない、クリーニング屋さんのビニール袋等を別ルートで焼却の方に送ります。</p>
松本委員	<p>そうであれば、最初から汚れがひどいものは燃やすごみと一緒にでもいいのではないかとと思うのですが。  ひどく汚れていてとても容リプラに入れられないというものを、本来はどうするのかという点でみんな混乱していると思います。</p>
事務局(糸井副所長)	<p>もしそのような問い合わせがあった場合でも、例えばマヨネーズやケチャップについてですが、プラの日に出してくださいとなります。ただ結果的に再利用するための分別作業量が多くなってしまうということも実際にあります。100%良質なプラだったら分別しないで、全部再利用できます。</p>
稲葉委員	<p>最初から、きれいなものだけを対象とすればいいのではないのでしょうか。汚ければ、洗った人は普通に出せばいいけど、時間がないとか、高齢でできないという人は燃えるごみでいいのではないですか。</p>
篠山会長	<p>本音で行こうっていうお話ですね。  正直にいつてしまえば、燃えるごみでいいのではないかと感じます。</p>

事務局(南雲次長)	市では、残り水でもいいから汚れを落として、容リプラで出してくださいとしか言いようがないんです。それを、今稲葉委員がおっしゃったように事情を考慮して、燃えるごみにいれてもいいですよとは我々は言えません。 また、洗ってないのは×ごみとかではなくて、問い合わせがあった場合には、洗って容リプラに出してくださいという言い方しかできません。
事務局(南雲次長)	洗ってないのは×ごみとかではなくて、そういう風に問い合わせがあった場合には、洗って、容リプラに出してくださいという言い方しかできないのですね。
稲葉委員	そうですね。確かに汚れているものは「燃やすごみ」でもいいのかなとは思いますが、単純にそういう扱いにするのではなく、水で洗ったりして汚れを落とし、なるべく資源に回してもらうよう協力をいただくことは必要だと思います。その際にはあくまで「あんまり洗わなくていいですよ」というふうにとらえられない説明をすればいいと思います。
恵良委員	×ごみに、少し汚れた容リプラものを混ぜて出しておくと、黄色い紙を貼って持って行ってくれません。 私としては、汚れているから、プラの所に入れますと考えたのですが、そうすると持っていかないです。
事務局(南雲次長)	そういう容リプラが燃えないごみに入っているとルール違反です。イエローステッカー貼られて、「プラが入っています」と書かれて置いていかれます。 そこで、我々行政は「こういう分別をしてください。」「こういう風にきれいに出してください」「そうすることによって資源化が進みます。」という風に説明しています。
松本委員	きれいにする方が洗剤もいるでしょうし、手間もかかるし、環境的にはそっちの方が悪くなると思います。
事務局(南雲次長)	それは今後の課題だと思っております。
事務局(金子係長)	今、分別の話がだいぶ出ていて、容リプラとそうでないものと出ていますが、ここについても、今後の取り組みの書き方だと思います。今出し方だけのお話でお話されていると思うのですけれども、燃やすごみの施設としてどう捉えたものかと。流山市の焼却炉というのは、1900キロカロリーが基準になっています。高質カロリーというのは2800キロカロリーです。これ以上を超えると処理できません。現在、2400キロカロリーを超えています。また、カロリーが上がるにつれ、焼却施設に係る整備費はどんどん上がっています。だから、そういうところも今後は周知していくべきなのかなと思います。
篠山会長	そうですね。それがあると「やっぱりちゃんとしよう」となります。当審議会のメンバーでもこれだけ意見がわかれているので、市民はもっと悩んでいると思います。
事務局(金子係長)	一方で千葉市の方はスーパーごみ発電というのを行っています。東京都もそうですが、プラを入れたことによって、普通のカロリーではなく、車で言うとターボエンジンみたいなものとなります。それでもう

	<p>一度発電をしています。それが東京23区ですとか千葉市では分別をしない理由です。しかし、流山市の施設というのは、ここの焼却施設とリサイクル館を作った時の構想としては、「リサイクルできるものはなるべくリサイクルしましょう」という考えでしたから、分別が多くなりました。</p> <p>また、習志野市の持っているシャフト式の焼却炉は、なんでも燃せます。だから、あそこは分別することがありません。最後に出てくるのは、溶鉱炉と同じなのでコークスを燃やして、燃した熱エネルギーを使って、発電し、スラグというものが出てくるだけです。だから分別がありません。</p> <p>流山市もどんどん人口が増えてきており、様々な自治体から引っ越しされてきています。</p> <p>私のいとも、習志野から流山に転入してきましたが「習志野では分別がなかったのに、流山市に入ったら分別が複雑だ」と言っていました、その話をしたら納得してくれました。</p>
篠山会長	<p>そうですね。今の話をさせていただくとわかりやすいと思います。</p> <p>ごみカレンダーを活用するという意見もありましたが、「流山はこうです」と言ってもらった方がいいと思います。</p> <p>「こういった理由だから分別します」と言ってもらったほうが、「他の所では一緒にしている」という意見も減ると思います。</p>
近藤委員	<p>他市から越してこられるアパートの方は、やはり今まで住んでいたところと同じような感覚で出されています。</p>
稲葉委員	<p>流山市だけじゃなくて、あちこちの自治体の話を聞いていると、やはり施設の特徴が説明されることが、あまりありません。そこでこのように説明されると理解できます。</p>
高岩委員	<p>柏市は、ごみカレンダーに「食品トレーは軽く水でゆすいでからスーパーの回収機へ」等、そういった事例が載っています。</p>
事務局(南雲次長)	<p>ごみカレンダーとかリーフレットは全戸配布しますので、広報よりも効果的であるように思います。</p>
高岩委員	<p>後は表紙をごみカレンダーにしておいて、中身を分別方法にしておくと冷蔵庫に貼りやすいと思います。</p>
事務局(南雲次長)	<p>検討してみます。大きな特徴を載せたいと思います。</p>
龍田委員	<p>ごみカレンダーを年に一度配布するのであれば、毎年注意点などを更新してはどうでしょうか。</p>
事務局(藤原係長)	<p>ごみカレンダーは、1年分が全部カレンダーになっていて、上の部分に分別が載っています。それとは別に、保存版といまして、これは8ページありますが、それぞれ、燃えるもの燃えないもの容リプラですね、その詳細なものが載っています。</p> <p>このごみはどの日に出すのか、何の分類で出すのかということはホームページに、50音順で細かく、載っています。</p>
龍田委員	<p>お年寄りにはホームページを見ないように思います。</p>
事務局(藤原係長)	<p>分別の問い合わせについてはホームページを元にお答えさせていただ</p>

原係長)	ています。こちらが、そういったものの中で一番詳しいものになっています。ほとんどの項目は載っていますが、特殊なものについては、お電話を頂戴している状態です。
篠山会長	やはり容リプラが一番重要なんでしょうね。それを繰り返し周知されるのが効果的かなと思います。その理由も含めて周知していくのがいいという印象を受けました。
大谷委員	今説明頂いた、細かい分類がホームページに出ていますということですが、そのホームページのURLはここには載っていないんですか？ 詳細な品目がホームページにありますよということであれば、そのページにダイレクトで行けるようなものが載っていると、「普段見なくてもちょっと見ようかな」とか、そういう意欲がわくと思います。
事務局(互井副所長)	今、流山市転入者は若い世代が多く、電話での若い人からの問い合わせがかなり減りました。お年寄りは今まで通り、電話でお答えしますので、わからないものがあたらご連絡くださいと言っていますが転入者にこれを配っているときに、変更点を正誤表で添付しています。 その正誤表にはQRコードを掲載しています。このQRコードを読み取ると、その50音表に行きます。 ただ、あくまで新規転入者の方にお配りしている正誤表に掲載しているため、以前からお住まいの方にはお配りできていません。そちらの方には、ホームページにQRコードを掲載することで対応しようと考えております。 よく若い人からの電話では、「ホームページは見っていますが、載っていません。」と言われます。こうしたことから、若い世代の人には正誤表等を通して50音表について効果的に周知できているように感じます。ただ50音表には、例えば廃棄物でブルーレイレコーダーのディスクは載ってなくて、DVDやCDしか載っていません。ですので、これからの課題でもありますが、細かな項目についても50音表に追加していきたいと思っております。
龍田委員	クリーンセンターのページにそのQRコードは載っていますか。
事務局(互井副所長)	はい。載っています。一度携帯に入れば、携帯から見ることができます。
大谷委員	広報に載せてもいいと思います。
事務局(互井副所長)	広報に定期的に載せたいと思います。
篠山会長	とにかく、容リプラのところが一番大事なので、とにかく徹底して周知するのがいいと思います。 場合によっては、今回の中間見直しの中にも容リプラに関してひとつ枠を出しておくのもいいと思います。
篠山会長	ぜひそこを工夫して何らかの形で反映して頂くということで、事務局よろしく対応いただければと思います。 今の容リプラというところで、カレンダーのこと等、皆さまから色々なご意見をいただきましたので、何らかの形で、計画に反映できるように、

	工夫して頂きたいとおもいます。 それでは、鈴木委員より、この資料をお配り頂いておりますので、資料に関してよろしいでしょうか。
鈴木委員	以前からリサイクル団体の報償金について他市並みにするよう言っていますが、この金額、集団回収になったからこれだけ増えたのは解りますが、この半分でやった場合、4,000万円ですよね。4,000万円浮いた場合、ごみ処理機に回すことができるかと思えます。
事務局(南雲次長)	そういったお話が聞けると、うれしく思います。
鈴木委員	これは、条例改正かなにかで、議会を通さないと半分にできないのですか。
事務局(古川部長)	これは、規則です。
事務局(南雲次長)	今後廃対審の中で、皆さんのご意見を聞きながら、反映していければという風に思います。 ただ、やはり各方面とも話をしなければいけないというふうには認識しております。
篠山会長	鈴木委員、この件につきましては、改めてですね、答申が終わったあとのお時間、来年とかの審議会で、ご相談申し上げたいと思えます。
恵良委員	剪定枝の持込時期の開始時期が書いてないですが、もう数値的に大丈夫なのではないかと思えますが、いかがでしょうか
事務局(南雲次長)	剪定枝については予断を許さない状況です。
事務局(南雲次長)	剪定枝を燃やしたことによって、灰の放射能数値が最終処分場の規準値を超えると、持って行けなくなってしまいます。 ですので、なかなか踏み込めないところがあります。 春先になると数値が上昇する傾向もあるので、推移を見ながらでないとできません。
篠山会長	ですから、この項目が×なのも、放射能に関わるということで、×の本質がそこにあるとすると、市側の責任ではないともいえます。
篠山会長	ですが、それをまたここで、市民と共有するのが大事になってくるかと思えます。
篠山会長	そうですね。 どうもありがとうございました。 この議題1の流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについては、今回皆様方から頂きましたご意見を反映させた形でまとめていくという方向で、事務局にお願いしたいというように思います。 で、議題2のその他について何かございますか？
事務局(古川部長)	今回、計画案の見直しということでしたが、次の段階といたしまして、答申案ということで、ご審議をいただきます。 答申案を作りまして、前もって皆様にお送りしたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。
篠山会長	それでは次回は答申案につきまして、ご審議を頂いて、答申をまとめて

	いくという方向で、お願いしたいと思います。 その他何かございますか。
高岩委員	保存版ではなくて簡易版が良いので、毎年、詳細な分別方法を配ることはできませんか。
事務局(糸井副所長)	年に一度の配布物としては、収集曜日カレンダーしか配っておりません。このカレンダーの上に6分別と粗大ごみが載っています。
事務局(南雲次長)	これは保存版ですので、毎年配るというものではないです。分別方法の変更、内容が変わった時に改めて作って、保存版として、差し替えて頂くという形になります。転入してきた方には、必ず、市民課等で、必ずこれをお渡ししています。
大谷委員	この分別の表ですが、紛らわしそうなもので、燃やさないごみに入るものもここに載せると、考えるきっかけにもなると思います。
篠山会長	先ほどにも関連していますけれど、わかりにくい分別のものを保存版にも載せて頂きたいというお話ですよ。
篠山会長	さっき松本委員からありましたように、そこだけでも、毎年変えるとかできないのでしょうか。
高岩委員	裏面に詳細な分別方法を書いてもいいのではないのでしょうか。
事務局(互井副所長)	このゴミだしカレンダーは8万部作っていますが、印刷経費はスポンサーが、広告料として出してくださっています。裏面も検討はしましたが、広告料がほぼ倍になってしまいスポンサーを2、3社募らないといけなくなり、スポンサーの紙面配置場所というところが難しくなります。
高岩委員	白黒にすることで、両面印刷できませんか。
事務局(互井副所長)	この色についても、お年寄りだけではなくて、色弱の方にも配慮した色遣いとしておりまして、中間色をあまり使わないように、印刷業者の方に仕様の段階で、要望をだしています。 また、問い合わせで、これ以上文字を小さくしないでくださいというものと、もっと品目を増やしてほしいというものがあって、検討している状態です。
篠山会長	そうですね。確かに、工夫して、研究されることをご検討頂ければと思います。それでは、本日の審議についてはこれで終了といたします。ありがとうございました。
・閉会(15時30分)	